

# おかし通信

宇賀荘小学校  
3月号  
R3. 3. 22  
文責：田中

## 笑顔と涙の六年生を送る会

季節は変わらなず移ろいでいます。能義平野を賑わした白鳥たちの「北帰行」は、例年と変わらなず、春の訪れを感じさせてくれています。

前々日から休み時間等を使って会場準備をしたり、係の役割練習をしたりして、三月三日（水）に「六年生を送る会」が開かれました。

全校ゲームは、六年生へのインタビューを絡めた恒例の椅子取りゲームでした。全校児童の仲の良さがにじみ出ており、終始笑顔いっぱいでした。各学年からの出し物では、六年生とのチャレンジ対決や、六年生の素晴らしいところを寸劇にして紹介したりして、六年生とのかわりを「層深めていきました。そして五年生は、思い出のアルバムを作成して上映してくれました。一年生のころから五人が仲良く成長してきた足跡が、写真や動画過去の担任の先生からのメッセージなどからも伝わってきました。そして、六年生からは、サプライズのキャンドルサービスがあり、宇賀荘小伝統の灯を各学年の代表者に引き継ぎました。心を込めて作ったプレゼント渡しゃ、くす玉割りも大成功でした。記念写真を撮影して送る会を締めくくりました。とても素敵な時間が流れ、終始笑顔が

絶えないやじごころしみりの6年生にぴったりの優しい会になりました。



## 池田玲香先生来校

現五年生の入学とともに三年間をこの宇賀荘小学校で過ごされましたが、一年前に退職になった池田先生。ことあることに子どもたちへの届け物や励ましを送ってくださいました。この度、学校の様子を見せてく



ださいという依頼があり、私の方から、『子どもたちにメッセージを伝えてやってほしい。テーマは『生きる』今の自分のことを語ってほしい。』とお願いました。池田先生は、現在も左半身が不自由ですが、『今の自分の生活と夢』というお題で、前向きに夢をもって生きておられることについてユーモアを交えながら語ってくださいました。特に五・六年生の子どもたちは、久々の先生との出会いに大喜びで、障がいがある方への「一番の理解教育になったと感じています。池田先生も『子どもたちから元気をもらった』と、とても満足して帰って行かれました。



## 五名の卒業生 立派に巣立つ

今年の卒業式は、三月十九日（金）に行いました。今年度も、本当に残念なのですが、ご来賓の皆様に来ていただくことはできませんでした。しかし、小規模校のメリットを生かし、保護者と全校児童と全教職員で心を込めて卒業をお祝いしました。卒業生も在校生も本当に立派な態度で式に臨みました。入学からずっと五人が協力し支え合って成長してきた姿や、この一年間最高学年とし

て学校を引っ張ってきてくれたことへの感謝の気持ち、そして、中学校での飛躍に期待を込めて送り出しました。・・・みんないい笑顔でした。



## 学校評価についてのお知らせ

三月三日（水）の午後、学校評議委員会を開催し、今年度の評価結果をお示しして、ご意見を伺いました。

【学校評議員会で話題になったこと】

☆オンライン授業などをすすめるためにも、各家庭でもネット環境の整備が必要である。

☆広い年齢層の方々とスポーツ交流、昔の遊び交流などをすすめることよい。その際、交流センターを積極的に活用してもらいたい。

○保護者、地域に向けての情報発信を適切に行う  
○教職員と保護者の関係：相談のしつらさ改善に向けて、面談の機会を増やす。

○生活習慣の改善：家庭の協力を得ながら進める  
○下校時刻を守ってほしい。…学校側の努力を。

今年度も、全員元気で修了式の日を迎えることができそうです。保護者の皆様や地域の皆様には、様々な活動に対し、ご理解とご協力、ご支援を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。次年度もよろしくお願いたします。

令和三年度初めの予定は、次の通りです。

四月八日（木） 着任式・始業式

四月九日（金） 入学式 七名の入学予定

四月十二日（月）給食開始、通常授業、

地域ぐるみ交通安全パレード